

【評価実施概要】

事業所番号	173501131		
法人名	医療法人社団 上田病院		
事業所名	グループホームゆうゆう		
所在地	室蘭市日の出町2番27号 0143 - 41 - 5100		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	〒060 - 0061札幌市中央区南1条西5丁目7番愛生館ビル601 B		
訪問調査日	平成21年10月22日	評価確定日	平成21年11月3日

【情報提供票より】 (年 月 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 12月 10 日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27人 人
職員数	31 人	常勤	21 人, 非常勤 10人, 常勤換算6.15人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋造り	造り
	2 階建て	1 ~ 2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000 円	その他の経費(月額)	光熱500円/1日暖房、150円/1日
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	100,000円	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,200 円

(4) 利用者の概要 (9月 1日現在)

利用者人数	27 名	男性	7 名	女性	20 名
要介護 1	6 名	要介護 2	6 名		
要介護 3	7 名	要介護 4	4 名		
要介護 5	4 名	要支援 2	0 名		
年齢	平均 86 歳	最低	75 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	上田病院・日鋼記念病院・三村病院・福田歯科
---------	-----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは東室蘭駅近く南東に在り、日用品等の大型店舗やマンション群が隣接している。ホーム敷地は広く、地域の活動に活かしている。3ユニットが巧みに構成されて、ユニット相互が交流可能でその機能性を活かしている。各ユニットの居間・居室、トイレ・浴室・廊下など機能的・効率的に配置されていて、介護しやすい条件を創っている。職員は良く訓練され、やさしく丁寧な介護支援を行っている。法人の医療(病院)と福祉(ホーム)の多様な働きを相互に生かして有機的な運営の効果を高めている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	特に改善すべき指摘事項はないが職員の多様な研修重視と資質の向上をはかって、利用者サービスのきめ細かな対応とその改善に努めている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価が日常介護業務の反省の結果であり、各職員が基本方針に基づく業務改善の具体化を検討するなど幅広く共通理解を深めるよう努めている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	会議は日常の利用者支援上のデータを示しながら定例的に開催して、意見や助言をホーム運営に活かしている。委員の参加は家族関係者・地域関係者・包括支援センターと多く、日常の行事職員研修状況・ボランティアの活動・事故等の資料を提示して、協議課題を明確にした会議が行われている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族用アンケートの実施、毎月の情報誌の発行してホームでの生活の実際を報告し、利用者個々の生活状況の周知に努めながら、家族等との交流の機会を多くして意向の吸収に努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	近隣とは前庭の畑作業の手伝い得たり、ホーム情報の町内会配布で行事運営の連携と参加をはかり、消防訓練、祭り・町内子どもみこしなど利用者も一緒に楽しめる環境作りを地域の連携や協力関係で深めている。また、認知症サポーター養成講座を開催して地域住民の理解を促がしている。

2. 評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員全員で協議しながら、地域に足の着いた利用者支援をうたい、利用者本位の支援に努めている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	利用者個々の生活課題を明らかにして、職員会議での協議を重ねてホーム事業の理念・目的を確認しながら実践に努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会への加入、会議に参加してホーム活動への理解と協力を求めるとともに、防災訓練の参加をしてもらい、また、夏祭りなどの協賛と子どもみこしの休憩地として、共に楽しみの場とするなど、多様な地域交流をはかっている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の目的を理解し職員全員の意見をもとに評価に臨み、1年間の改善点を点検し課題発見に努めている。さらに外部評価結果をもとに評価の改善に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議は家族・地域の関係者・地域包括支援センター・職員で構成し、定例的に日頃の運営にかかわるデータを示して参加者の意見や助言を運営に活かしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>室蘭市の指導や胆振管内のホーム関係連絡会を通して、行政の指針や運営意向を確かめるとともに、職員の資質向上の機会として相互交流を図りホーム運営に活かしている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会には留意して利用者の現況報告を密にするとともに、個々の月次報告書を作成して心身の状況や生活の様子を家族へ送って情報も交換をしている。また、ホームの[ゆうゆう通信]を発行して行事やホーム連絡事項を知らせている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱の設置や家族の訪問時に相談を受け止め具体的な対応に努め、苦情申し出の仕組みを窓口の明確化と併に周知に努め、かつ、運営推進会議の家族参加を奨励し、データを示した運営状況を説明して運営に反映している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動や離職は最小に努めるため定期的に職員の意向や課題を受け止めるなど面談の機会を設けている。異動等の際は利用者への紹介や利用者への留意点を明らかにした対応を図るなど関係職員とともに配慮に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業所内の事例発表や勉強会・研修は経験等の段階に応じた参加で資質の向上を図り、受講の記録・報告書の提出・発表するなど成果を共有するように努めている。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管内にいくつかの交流会があり、相互の運営・研究の発表会など、積極的な交流を進めて相互のホーム運営の向上に活かしている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>利用者が入所のきっかけは家族・病院などの連絡紹介に始まるが、個々の申し出の状況に応じた家庭訪問や病院などに出向くこともあり、本人の状況に応じた対応とホームの見学や説明対応で理解を図り、ホームの雰囲気や職員の対応の理解に努めている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者個々の生活力を職員全員で理解に努めるとともに、家族の説明を求めて本人の生活をより豊かにすることが出来るよう本人と気持ちをひとつになれる信頼関係作りに努めて支援に当たっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>本人の生活歴などに配慮し、会話・趣向・好みに応じながら、本人の意向を汲み取り、沿えるように職員相互が気づきや発見に努め協議を重ね実践に当たっている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者個々の心身の状況・その変化については医師・看護師の協力と連携、介護者相互の綿密な協議と検討を重ねて利用者の小さな変化や言動に気づいて対応を図るとともに、家族の協力のもとに定例的な介護計画の策定・変更にあたっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定例的な介護計画の策定にかかわるケアマネジメントとともに、変化に即応したアセスメントやモニタリングを経つつ計画の変更を行っている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>法人の医療機能を母体にした医師や看護師の定時的健康診断や緊急時の即応体制、他に通院・外出先の送迎などを行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入所前からのかかりつけ医の情報の収集、継続的な医療支援、家族の意向や本人の納得を得た支援に努めている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入所後の早い段階から終末期の対応について協議の上で覚書を交わして主治医等と連携した事業所の対応を説明している。職員も情報の共有を図って終末期の対応をしている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない</p>	<p>利用者個々の対応には声かけに始まり終始、個人の尊厳、その人らしさを損なうことがないように留意した介護に努めている。個々の生活記録等にあっても記録・管理・保存のあり方に留意している。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の個々の生活の趣向・活動力に合わせたペースやリズムを損なうことなく、見守りながら本人の意向を汲み取りつつ支援に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の体調・好みを考えた食事作りに留意し、行事・季節・誕生会などを考慮した変化に応じて趣向を入れながら楽しい場とするよう工夫している。調理に参加できるようにそれぞれの役割りを果たせるような支援を行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望に応じた入浴に努めており、時には、母体の上田病院の大浴場を活用するなど変化を楽しんでもらっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者個々の得意分野を見出して、出来ることを勧め、職員も参加して楽しみを継続して出来るよう工夫をしている。散歩・前庭での日向ぼっこでお茶を楽しみ・買い物と共にするなどの支援をしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	基本的に自由な動きを見守ることとしている。畑の手入れや草取り、買い物での外出は徒歩・車椅子・ホームの車で出向くなど、近隣を含め外風に当たる開放感を味合うよう努めている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	拘束はしないの基本方針の下で自由な生活を支援するようにしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年2回の防災訓練を行い、夜間の事故を想定するなど厳しい条件を設定し、地域の人々の参加協力を得ながら実施している。非常口・消火器の位置・火災通報装置の確認点検など操作マニュアルの実行を行っている。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者の嗜好把握・量・見た目・盛り付けなどに留意と工夫するとともに、毎日の摂取量の把握や水分の補給状態の把握など、また、減量などの変化に留意した支援をしている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>日照・採光・温度・湿度・換気などに留意した環境への配慮と季節の花・野菜の植え・収穫の楽しみ・季節・節句の飾りなど生活の変化を味合う試みを行って居心地よい生活の維持を図る工夫を続けている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族と相談して本人の馴染みある居室作りを支援するとともに、本人の好みに合う模様替えも支援するよう努めている。</p>		

 は、重点項目。